

避難について

分散避難

避難とは、災「難」を「避」けることです。

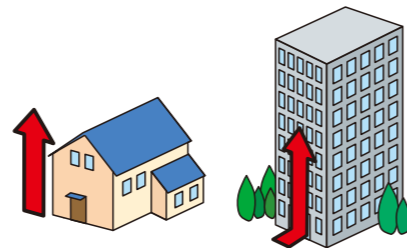
小・中・高等学校の避難場所などのほかに、自宅が安全な場合は**在宅避難**をするほか、親戚や友人の家に避難する**縁故避難**、宿泊施設へ事前に避難をするなど、複数の避難場所を検討しましょう。



命を守るための避難行動

○垂直避難とは

外に出ることが危険な場合や安全性の高い建物にいる場合は、無理に屋外へは避難せず、可能な限り上層階へ「**垂直避難**」するなどの**命を守る最善の行動**をとりましょう。



○洪水時一時緊急避難施設について

川口市では、洪水時に建物の高層階への避難が可能な以下の施設と「洪水時一時緊急避難施設」として協定を締結しています。洪水時に近隣住民のかたなどの命を守るため、ご協力いただけるマンションなどを募集しています。

【指定条件概要】

- ・鉄筋又は鉄骨鉄筋コンクリート造
- ・受け入れ可能場所が3階（概ね高さ9m）以上
- ・耐震性があること
- ・終日にわたり、一時的に避難者の受け入れが可能であること など



【協定締結施設】

- ・パークホームズ川口幸町センターステージ（幸町 2-17-1）
 - ・ハイラーク川口（領家 3-17-1）
 - ・グリーンビュー第3川口（川口 2-17-48）
 - ・アリオ川口 駐車場（並木元町 1-79）
- （令和3年 3月時点）

マイ・タイムライン

「マイ・タイムライン」とは

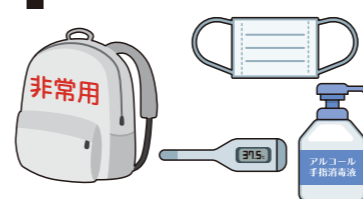
「マイ・タイムライン」とは、台風や大雨等の風水害に対する**事前の準備や行動**をあらかじめ記録し“**予定表**”にしておくことです。

- ①ハザードマップで各河川の浸水想定区域を確認しましょう。（詳しくは12～22ページ）
・河川名： _____ ・浸水深： _____ m
- ②避難場所を確認しましょう。
避難場所名等： _____ （複数記入）
- ③避難するタイミングを考えましょう。 いつ： _____
（例：警戒レベル3「高齢者等避難」で避難など）
※高齢者や乳幼児などの避難に時間を要するかたは、警戒レベル3で避難するなど、早めの避難行動をとりましょう。
- ④情報の入手要領を確認しましょう。（詳しくは2ページ）
きらり川口情報メール、LINE【川口市公式アカウント】、Yahoo! 防災速報、川の防災情報、テレビのデータ放送、ラジオなど
- ⑤マイ・タイムラインを作成しましょう。
7・8ページに記入してみましょう。
- ⑥非常持出袋を準備しましょう。（詳しくは38ページ）
水、食料、毛布、常備薬ほか、感染症対策用品（マスク、消毒液、体温計）などを追加しましょう。

避難する前に最終確認しましょう。

避難の前に確認!

■非常持出袋



▶玄関先などの持ち出しやすい場所に非常持出袋を日頃から家族分準備しましょう。

■避難時の身支度



▶ヘルメットや手袋、ヘッドライト、避難用の運動靴などを準備しましょう。長靴は浸水時に歩きづらく危険なため避けましょう。

■移動手段



▶車での避難は、豪雨などによる道路冠水で車内から脱出できなくなる可能性があり、水没した車内で亡くなる「車中死」も報告されています。原則、徒歩で避難しましょう。

避難時に注意!

■川などに近づかない



▶川や用水路、橋などの様子を見に行く、流されるなどの被害に遭う可能性が高く大変危険です。絶対に近づかないようにしましょう。

■明るいうちに避難を



▶夜間の暗い中では、周囲の状況などが把握しづらく非常に危険です。できるだけ明るいうちに避難しましょう。

■浸水後の避難は危険



▶膝ぐらいの水深でも、流れがある場合は歩くことが困難になります。また、水が濁り、足元の状況確認が難しく大変危険です。できるだけ、浸水後の避難は避けましょう。